

平成26年12月8日

110126

〈計画を作る〉

今年も残りのわずか、1年の締めくくりと、次年度の計画を立てる時です。今年も反省し、次年度改善策を立てる。良かった点、悪かった点。強み、弱み。長所、短所。得意、不得意。1年向を振り返り、考える時だと考えます。成長する為、良い年にする為、良い会社、良い社会、みんなが良くなる為と考えます。上手にいく、計画通りいくことばかりでなく、失敗することも数多くあり、自分の実力として正しくないことも計画してしるうことでもあります。しかし、計画がなければ、回り道をしたり、迷いが生じます。目標(ビジョン)を持ち計画を立てる。行動を、経験をいいて、修正していく、全てが、自分の知識となり、計画を立てることにし、分析をするのができる。次に役立つことが出来ます。1年の計を立ててみましょう。そして、数字計画を立ててみましょう。数字計画では、損益計算書、貸借対照表だけでなく必ず資金繰計算書(キャッシュフロー計算書)をつくることの方が大切だと思います。資金繰計算書をつくることにし、安全な会社、つぶれたくない会社となります。そして安定した経営の出すことだと思います。来算の予想を立てる。黒字対策、赤字対策、そして大事なのは自己資本率が40%未満の場合は、過度(お金の残らない)節税は行わない。社員への感謝、お客様への感謝。次に中期計画(ビジョン)、そして短期計画(次年度)を立てる。社会にお役立て、お客様への喜びの満足、社員への幸せ、自社の利益、計画を通じて、可能かと考えます。計画を立てていきましょう。

高村幸裕